



片づけを考える

○ 男性の家事参加に思うこと

新しい年になり、七十二候も初候「芹乃榮（せり すなわち さかう）」次候「水泉動（すいせん うごく）」など、冬の厳しさの中に春の鼓動を感じる時期になりました。

動きといえば、男女共同参画推進事業を勉強する機会がありまして、「春日部市男女共同参画報告書」を読みました。

男女共同参画とは、男女が平等の立場であるべきという理念の元に内閣府男女共同参画局が中心となり各地方公共団体が取り組んでいる推進事業です。

春日部市が掲げる男女共同参画計画目標の大きな柱の1つに「ワーク・ライフ・バランスの推進」があります。

それがさらに細分化された「家庭における男女共同参画」の政策が立てられていて、市でも実際に取り組みが始まっています。

これは、ざっくりとした言い方になりますが、子育て、介護を含めた家事を男女共に担うことです。

報告書を読む限りでは、子育てや介護を含む家事全般に関しては、まだまだ女性の役割とする考え方が強く残っており、多くの女性が一方的に縛られているのが現状です。



私の周りの男性や、講習会に来てくださる男性を見ると、

「男性優位の考え方から家事をしない」

「家事はやる気はあるけど、やり方がわからない」

「男女の役割関係なくやれることはどんどんやる」のいずれかに分かれている気がします。

男性優位の考え方を持っている人々を変えていくのは、簡単ではありませんが、「やり方がわからない」人々と「どんどんやる」人々が自然な形で家事をこなすことで、根強い「男性優位」の考え方をする人々も少しずつ変わっていくのかも知れません。

そのために、女性側もこれを上手に手助けする必要があります。男性の家事には、つい、「私がやった方が早いから」とか「思う様にやってくれないから」とか、不満が先に出てしまいますが、何と言っても、家事の「初心者」なのですから、育てることを考えて大目に見る忍耐力も要りますね。

男性の家事参加は女性の家庭内での負担を軽くします。

家庭内の負担が減ることは、女性の社会進出、地域活動の参加の機会を増やし、それが結果的に男女共同参画社会につながっていくのです。

家庭内でも、男女が同じ立場で、家事をすることも、男女共同参画の形です。お互いがお互いを思いやることで気持ちでの負担も少なく家事したいですね。



朱夏らいふ

森 由香（もり ゆか）

- 整理収納コンサルタント
- 整理収納アドバイザー認定講座講師
- 企業内整理収納マネージャー
- 整理収納教育士
- ファイリングデザイナー(1級)
- 整理収納アドバイザー
- ルームスタイリスト(1級)



出張セミナーのご案内

- 一般向け 「ポイントを知って始める基本の整理収納」
「シニア世代の家の片づけ方」
「捨てられない人の整理術」
- PTA 研修 「片づけ上手な子にする為にお母さんが知る整理収納」
- 企業研修 「5S から考える職場の整理収納」他

整理収納全般のテーマでお受けします。
内容、ご予算等お気軽にご相談ください。

○資格取得講座＜整理収納アドバイザー2級認定講座＞
ご希望日をお知らせください



モノを減らすお手伝いをします

ご自宅やご実家のモノが多くて、片づけが始まらない方にモノを減らすことをメインにした片づけのお手伝いをします。

ぜひ、モノの手放し方のコツをつかんでください。簡単な収納アドバイスも致します。(セミナー受講生徒さん、紹介の方、誕生日、母の日、父の日ギフトに使われる方、料金割引サービス致します)

※(例) 通常コース 3時間 9,600円～ お急ぎコース 3時間 15,000円～
ご相談に応じます。詳細はお問い合わせください

〈朱夏らいふ〉

中国の五行説では、青い春(青春)の次に来る季節は朱い夏(朱夏)です [朱夏らいふ] のネーミングには、人生の朱い夏を頑張る皆さんと暮らし、そして、自分を応援する意味が込められています

発行日：2022年1月1日(土) No.45

編集&発行：朱夏らいふ 森 由香

HP : <https://shuka-life.com>

E-mail : info@shuka-life.com

2020年9月よりHPとE-mailのアドレスが変わりました



生徒さんのちょっといい話

ここではセミナーでの生徒さんからの話を紹介しています。

〈宮代町 Tさん 60代女性〉

「趣味のパッチワークのモノが多くあり捨てられませんでした。楽しみのモノを無理に捨てる必要はない、と教えていただき、気持ちが軽くなりました。いい機会なので、何がどこにどのくらいあるのか、わかるように、種類別に分けておきたいと思います。」

〈越谷市 Fさん 50代女性〉

「捨てられないから片づけができないと思っていましたが、まず、分けることを始めてみました。仮処分できるので気が楽になりました」

捨てることにこだわらなくなれたおふたりに拍手です👏

家が整う、運気が変わる、望みが叶う！

片づけ意識革命

本の紹介

家は「家族の暮らしの土台」

日々の忙しさについて忘れてしまいそうなことに気づかせてくれます。

風水を取り入れた本ですが、難しくなく風水も学べてお得感満載です。

著者：吉村 陽子 定価：1,500円(税別)

ブログでも本の紹介をしています

朱夏と LIFEのお片づけ日記→<https://ameblo.jp/shukalife/>



講座のご案内

○資格認定講座

＜整理収納アドバイザー2級認定講座＞

(会場開催) 春日部市民文化会館会議室

9:30～16:30

(オンライン) ZOOM 講座(夜間2日間×3時間) 19:00～21:00

※毎月開催しています。最新の日程はHPでお知らせしています。

○定期講座

＜ポイントを学んで楽々お片づけ＞

毎月第2木曜日 10:30～12:00 コープカルチャー富士見

＜捨てるセンスを身につけよう～＞

毎月第1水曜日 10:00～11:30 コープカルチャー春日部

○春日部市生涯学習市民塾＜令和流・家の片づけ方＞

1/22 1/29 2/5 (全3回)

○イベント講座＜基本の片づけ＞2/26 無印良品東武動物園駅前店

○春の短期講座＜春のクローゼット整理＞

3/5 コープカルチャー春日部

3/10 コープカルチャー富士見

詳細は朱夏らしいのHPをご覧ください



朱夏と日和

～ひとりごと片づけ日記～



だいぶ前、フラッと寄ったデパートで、ひと目で気に入って衝動買いしたバック。あまりに好き過ぎて、大事な時にしか使わない様にしていたら、あまり使わないうちにどんどん月日が過ぎてしまって…

こうなると、いざ使おうと思った時にも「デザインが古いのではないかしら？」と心配になって、ここ、しばらくは、他の無難なバックで出かける様になっていた。

「古いのでは？」と人の目が気になるのは、その昔、気に入ったスカートは何も気にせずに着ていた時に「随分、古いスカートはいているのね」とすばっ！と言われてしまったことがあって、それがトラウマになっている…

こんな事情もあって、バックは「使っていない」。となると、処分するしかない、かな…と思いつつ、ずっと処分できなかったのは、やはりこのバックがとても好きだから。

そこで、「人がどう思うか、ではなく自分が好きならばそれでいい」と倒れていた自分軸を立て直して、仲のいい友達に会う時などにこのバックを持ち始めたら、会う人会う人に褒めてもらい、嬉しくてどちらに行くにも持ち歩いている。

気がついたら、いつの間にか、トラウマも完全に消せていた。私が堂々と使うことで、このバックが息を吹き返し、ひと目を気にするつまらなさを超えさせてくれたのかも。

バックに付け放しにしておいた、抽選で当たった林真理子さんの「マリコストラップ」も久々にお日様の下に。こちらもしっかり、喜んでるわね。

整理収納 Q & A

- Q 書類や紙袋を入れるボックスをいくつか用意してラベリングもしています。だんだん中身が溢れてきてしまい、結局、テーブルの上などに書類や紙袋を置き放しにしてしまいます。
- A モノの定位置決めができていますので、一段階目はOKです。次にすることは、数の管理です。モノは何もしなければ増えてしまいます。ボックスに収納するのであれば、「このボックスに入るだけ持つ」、毎月来る書類などは、「〇ヶ月分だけ入れる」など数を管理しながら収納すると、スペースに余裕ができ、定位置があるのに他の場所に出し放す、ということもなくなります。

SHUKA 朱夏 LIFE

収納のコツ

横幅の狭い空間、天井から床までの壁面は、棚やラックなどを設置すると空間を有効利用できます。

手軽に収納力をアップしたい時には、サイズの調整が利き、組み立ても簡単な突っ張り製品を使って収納に活かせます。

横幅の狭い空間には、突っ張り棚が便利です。

壁面には、突っ張りラック(仕切り)を取り付けるとパネルにモノをかけることもできます。

また、壁のないところでは間仕切りとしても活躍します



↑棚 ↑突っ張りラック



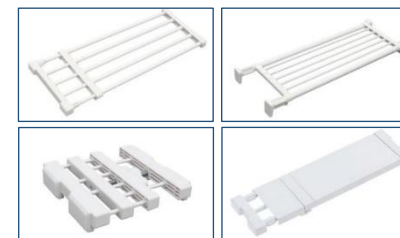
↑突っ張り棚

グッズの紹介

突っ張り棚

棚の部分の形状が選べます。12～14cmサイズからあります(写真左下)

平安伸銅工業



突っ張りラック (パーティション)

パネルタイプやシェルフ(棚)タイプなどメーカーにより色々な形があります。商品の名称は統一されていません。

(左) 山善 (右) アイリスオーヤマ

←写真 各HPより



「動線上に収納」ってどういうこと？

生活する場所と人の動きを合わせて、負担や無駄のない場所にモノを収納しておくことです。

モノは使いたい時には多少、取り出しにくい場所にあっても取りに行くことができますが、使った後に元の場所までもどしに行くのは、面倒になってしまいます。

その結果、モノは定位置に戻らず、出し放しになります。

よく使うモノ程、よく通る場所、よく行く場所などに定位置を決めましょう。「戻す」が負担なく行えます。

動線の長さもできるだけ短いほうが、動線途中でのちょい置きなどの回避にもつながります。

